



えらい人より よい人間に

教育長職務代理者
大河 龍 生

「えらい人になるよりも、よい人間になりたいな」これは、昨年11月に亡くなられた詩人谷川俊太郎さんが作詞した、同志社小学校の校歌の一節です。「よい人間」とは、時代の変化に流されず、自分の内なる「良心」に従って行動できる人間ということだと思います。

本来、人間は誰しも、人として良く生きていきたいという思いを持っているはずですが、今の世の中、巧妙化する詐欺や政治家の不正など様々な問題が日々起こっています。教育現場でも、いじめ問題はなくなりません。人の「良心」は、いったいどうなってしまったのかと悲しくなることもしばしばです。SNS等に溢れている不確かな情報や他人の甘言に流され行動すると、人としての道を踏み外し、大切な人生を棒に振ったり、他人の人生を踏みにじったりすることになるかもしれません。だからこそ、今の世の中自分の内なる「良心」に従って行動することが大切だと思うのです。

子どもは、大人の背中を見て育ちます。未来を担う子ども達が、世の中の誘惑や悪意に惑わされることなく、「よい人間」として成長していけるよう、まず私たち大人が自分の「良心」と向き合うことから始めたいものです。



子どもの力を信じる

教育委員
宮本 千 春

子どもが悩んでいたら、助けてあげたい、すぐに解決してあげたいと思います。そして焦って行動し、子どもが成長する機会を奪ってしまったと後から思うことがありました。

例えば友達関係でなにかあったら、小さなことでも親同士で解決してしまったり、提出物で困っていたら、前もってあれこれ口を出したり…もちろん年齢や場合によって親の助けが必要ですが、まずは子ども自身が自分の問題としてとらえ、考え、試行錯誤する時間を持たせることが大切だと思います。間違えた選択をしたり、失敗を繰り返して時間がかかるかもしれませんが、その過程で問題解決能力や対応力が育まれ、大きな成長と自信につながると思います。

また子どもに任せることで、「あなたならできる」というメッセージとなり、信頼関係が生まれます。とはいえ、今もつつい口を出してしまっているのですが、子ども自身の力を信じて待つ姿勢を心掛けたいと思います。



やる気

教育委員
志 水 矛

勉強した方がいいのはわかっているんだけど、やる気がでない・勉強したくないっていう気持ちになることはありませんか。幼稚園児・保育園児の修了式での、目をキラキラ輝かせながら語る小学校入学への意欲、「勉強たくさん頑張ります」「国語も算数もたくさん覚えたいです」「テストで100点とりたいです」前向きで希望に満ち溢れた姿は感動的です。それなのに、年齢を重ねるにつれ、問題がわからない、ミスをした、なかなか覚えられない、という事が積み重なっていくとやる気もしばみます。そういう時はまず行動してみましょう。

勉強に不必要なものを排除した環境を作り他人ではなく自分の決めた目標を立てて取り組んでみましょう。

疲れた時は休んで、完璧を求めすぎないように気をつけて。日々の生活で、「ちゃんと食べる・ちゃんと運動する・ちゃんと寝てちゃんと起きる」と当たり前の事をきちんとするだけでも脳は育つそうです。まずはやってみましょう。



合掌のすすめ

教育委員
井 本 学 明

相手への思いやりと敬意を考えてないと争いが起こります。人として常に心得、行動すべきと思うことは「合掌」することです。祈りの合掌、誓いの合掌、感謝の合掌など、人により色々な合掌がありますが、宗教的な合掌でなく、日常生活に必要な合掌を大切にすることです。

初詣で一年の安泰や願い事の成就を祈り、誓いを立てる合掌は多くあります。殆どが自分のこと、家族のことを祈っています。天地自然の恵みに対して、人間関係に対して等の感謝の合掌も大切なことです。

食事の前後に「(命を) いただきます」「ごちそうさま」と手を合わせてみましょう。また「ありがとう」と手を合わせてお礼を言えば、相手の心に感謝が伝わります。手を合わせて言ってみてください。言葉も丁寧になります。「ありがとうございます」になります。同時に動作も頭が垂れます。

このように日常に合掌を取り入れれば、自分の生活が変わってくる筈です。祈る時も自分のことだけでなく、他の人の幸せを祈り、世界の平和を祈りましょう。

お互いに相手のことを思いやれば争いは起こりません。自分から変えてみましょう。



令和7年5月 第46号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857 FAX 0791-43-6895



「赤穂教育プラン」策定について

教育長 尾 上 慶 昌

近年、教育改革の必要性が世界的に高まっています。

特に、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた教育が求められ、従来の画一的な教育から少人数による教育への転換が進んでいます。特に本年度から数年間にかけて、全国的にICTの導入やコミュニティスクールの推進、部活動の地域展開、教員の働き方改革など、様々な分野での改革が加速するといわれています。

教育委員会では、市長との総合教育会議や定例教育委員会等で意見交換し、子育て支援体制や学校園所保育・教育、生涯学習の在り方を話し合い、保護者、地域の皆さんと一緒に推進できる教育振興施策への具体化を図っています。

この度、「夢と志を育む教育」を基本理念とし、その達成に向けた今年度の実施計画の見直しを行い、教育施策と具体的な取組項目を設定し、「令和7年度赤穂教育プラン」として推進してまいります。主な教育活動としましては、子育て支援、いじめ問題や不登校対策をはじめとする生徒指導の課題への迅速な対応、スポーツ都市宣言に相応しい社会体育や生涯にわたって生きがいを持ち学び続ける生涯学習の充実等に努めてまいります。特に、学校園所教育では、子供が主役であることを念頭に、「キャリア教育」「人権教育」をはじめ「幼保小中連携教育」、英語教育を中心とした「グローバル化に対応した教育」「確かな学力の育成」、インターネットなど「メディアとの正しい接し方」の教育啓発、特別支援教育の充実資する「イン

クルーシブ教育」などに取り組んでまいります。

特に、従来の一斉授業を中心とした教育から、個々の児童生徒の理解度や進度に合わせた個別最適学の実現に向けた取組が進むことが予想されます。例えば、「アダプティブラーニングシステム」の導入があげられます。これは、学習者一人一人の能力や理解度に応じた学習体験を提供するための教育改革の一環といわれ、AIやデータ解析技術を活用し、児童生徒の進捗や弱点を把握し、最適な教材や学習方法を見つけることができるといわれています。また、生成AIの活用も教育現場において注目されていますが、その適切な運用には課題が残ります。政府からは「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」も発表されています。ガイドラインでは、生成AIの概要や教育利用における方向性や注意点についてまとめられています。こういったガイドラインをうまく活用しながら、今後のAI対応の方針を定めていく必要があります。いうまでもなく本市の宝である子供たちは、それぞれが様々な可能性を秘めています。一人一人の子供たちが夢と志を持って学んでいくことの楽しさや、周囲の人々との関わりを通して生きる力を身に付けていくことの素晴らしさを心から感じ、夢に向かってチャレンジしていく力を培っていきながら、子供たちに関わる私たちの務めであり、そして一人の人間として子供たちと関わり合い、新たな教育課題に対応しながら、共に日々成長していく必要があると思っています。



基本理念

キャリア教育
の推進

“あすの赤穂”をになう
こころ豊かで自立する人づくり
～夢と志を育む教育をめざして～

人々が生涯にわたり夢と志をもち、学校教育、歴史や文化、スポーツを通じて個性や能力を発揮し、主体的に活躍できる教育環境の整備と地域コミュニティの構築を推進し、次代をになう自立する人づくりを目指す。

生涯学習
の推進

保育所
幼稚園

小学校
中学校

生涯学習

《学校園所教育の充実》

- 【小学校・中学校】
- 「確かな学力」を育成するため「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の改善
 - 学校運営協議会を中心とした「地域とともにある学校づくり」の推進
 - 子どもたちの「豊かな心」を育む道徳教育・人権教育の推進
 - 一人一人の教育的ニーズに応じた、学びの場における指導・支援の充実
 - いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を図る生徒指導の充実
 - 適切に判断し、命を守り抜く力を育成する防災・安全教育の促進
 - 校種間の連携による円滑な接続と系統性を重視した指導の充実
 - 「健やかな体」の育成をめざし、健康教育の充実と体力・運動能力の向上
 - グローバル化に対応した外国語教育・伝統文化に関する教育の推進
 - I C T機器を活用した学習活動と情報モラル教育の推進

【幼稚園・保育所】

- 「生きる力」の基礎を育む「主体的・対話的で深い学び」を目指す教育・保育の創造
- 「学校運営協議会」の導入（幼稚園）及び子育てに関する情報発信や子育て相談等、保護者・地域と共に歩む保育の実施
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保育展開と小学校教育との円滑な接続推進
- 「自己を大切にしようとする心」「豊かな感性」を育む人権教育の推進
- 一人一人の発達やニーズに応じた支援体制の充実と関係機関との連携推進
- 家庭と連携した発達に応じた基本的生活習慣の確立に向けた取組
- 感染症予防に配慮した保育と子どもたちの健やかな成長の保障
- 幼保一体化の推進
- 保育者（保育士、幼稚園教諭）の資質・能力向上のための研修実施
- 子育て世帯の経済的負担軽減のため、3歳児以上の第3子以降に給食副食費を補助

《給食事業の充実と適正運営》

- 安全な作業環境整備及び衛生管理強化のために、施設修繕、調理器具の更新等を実施
- 給食施設設備の日常点検と薬剤師による定期点検の実施
- 食中毒及び異物混入防止対策として飛翔昆虫対策等を実施し、安全管理を徹底
- 地産地消の推進として赤穂産の米粉を使った米粉パン及び地元食材を使った献立を実施
- 警報発令時対応、アレルギー対応、感染症対応等について学校教育課・学校園との連絡調整の強化
- 子育て世帯の経済的負担軽減のため、第3子以降の給食費の完全無償化、幼稚園児及び小・中学生の1学期分の一部無償化、2・3学期分の完全無償化を実施
- 新学校給食センター整備事業の推進及び令和7年9月の供用開始に向けた円滑な開業準備の実施
- 新学校給食センターにおける安全で安心な給食の提供及び新しい調理機器を活用した献立の充実

《生涯スポーツの普及・振興》

- 市民の健康づくりのため、市民総合体育祭等を開催するとともに、その他協賛事業として各種スポーツ大会を実施
- 忠臣蔵旗少年剣道大会や各種目協会のスポーツ大会等を通じた友好親善都市とのスポーツ交流の実施
- スポーツの日イベントや少年野球・中学野球・高校野球の親善試合などスポーツの一貫指導と健康とスポーツを機軸としたスポーツ先進都市推進事業の実施
- 体育協会やスポーツ少年団、スポーツクラブ21などの組織活性化と関西福祉大学・赤穂高等学校との連携・協力による団体の育成強化
- 赤穂義士杯青少年柔道大会や市長旗少年野球大会など広域大会の実施
- 安全で快適な施設の利用促進と利便性を向上するため、市民総合体育館などのスポーツ施設整備の実施
- スポーツ先進都市の実現に向けた赤穂市スポーツ推進計画に掲げる施策の推進
- S D G sの達成に向けて、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上への取組

《図書館事業の充実と適正運営》

- 図書整備充実のため図書館蔵書を計画的に購入
- 読書活動推進のため歴史文学講座、絵本講座、朗読講座等の実施
- 新着図書案内の発行、話題の本・特集コーナー・イベント等、ホームページやS N Sも活用した図書館情報の提供・発信
- 周辺地区を対象としたブック宅配サービスの実施
- 電子図書館サービス充実のため電子書籍の購入と地域資料の電子書籍化の実施
- 読書記録通帳による子ども読書活動の推進とブックスタート（絵本との出会い）事業の継続実施
- 東備西播定住自立圏及び播磨圏域連携中核都市圏域内の連携事業や相互利用の推進

《地域文化の顕彰・整備》

- 赤穂城跡の二之丸城壁整備等による史跡整備の推進
- 獅子舞等の伝統文化の調査・保存の推進
- 各種開発等に伴う試掘・発掘調査の実施、調査報告書の刊行、出土遺物の適正管理
- 田淵氏庭園等の指定文化財の保存・整備の推進
- 文化財資料のデジタル化等による文化財資料の充実整備
- 「文化財をたずねて」等の刊行による保存顕彰の推進
- ホームページによる情報発信、文化財保護連絡員活動による普及啓発の実施
- 赤穂城跡、有年遺跡公園、旧坂越浦会所の施設管理と公開の推進
- 有年考古館における企画展等の実施
- 「図説赤穂市史」の編集、市史史料集シリーズの編集・発行による市史等編さん事業の推進
- 忠臣蔵浮世絵データベースの活用促進

《施設・設備の充実 生涯学習の充実》

- 赤穂中学校屋内運動場に空調設備を整備
- 小学校屋内運動場照明設備のLED化改修
- 小中学校の老朽化した施設の適正な管理を行っていくための施設整備を実施
- デジタル教材やI C T機器を効果的に活用した情報教育の推進
- 全小学校区でアフタースクールを実施
- 文化施設の施設整備と資料の収集（利用環境の快適性向上と適切な維持管理、郷土ゆかりの資料収集）
- 文化活動の推進
- 市民会館関係
- 文化団体の支援や美術展応募者数の増加促進
- 市民会館施設整備の実施
- 公民館関係
- 高齢者大学の充実と市民のニーズに対応した魅力ある講座・教室の実施
- 公民館施設整備の実施

PDCAサイクル (plan-do-check-action)

学校園所・家庭・地域の連携協力

人権文化
の創造